

科目名 Course Name	子ども英語教材ワークショップ Workshop for English Educational Materials for Children			ナンバリング No.	B3-007	
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態 演習
担当者氏名	堤 裕美子					
連絡先(質問等)	C-Learning にて対応。					
必修/選択	選択					
関連 DP	DP2、DP5、DP6					
授業の概要と 到達目標	児童英語の授業で子どもが学習意欲を高め、習得効果を高める教材作りを学ぶ。 ①どんな教材があるのかを知り、その学習効果を理解することができるようにする。 ②学習理解を助ける教材を作ることができるようにする。 ③作成した教材を有効に使った授業運営を考えられるようにする。					
授業の方法	手作り教材を作成し、実際にそれを使用したレッスンプランを立て、実習を行う。					
学習成果	L01					
	L02	子どもが楽しく英語の授業を受けられる様々な教材について知識を深め、教材を自分で手作りすることにより、教材の目的と意義を体得することができるようになる。				
	L03					
	L04	実習の場で自分が作った教材を使用してみることで、子どもの学習成果を目の当たりにし、指導者としての素質を磨くことができる。				
課題に対する フィードバック	小テスト、発表試験は試験後に模範解答を示し、試験結果は授業内に各自にフィードバックする。					
教科書/ 参考図書	なし。必要資料は授業内で随時配布する。					
履修上の留意点 やルール等	共同作業になるのでチームワークと個人の創造性のバランスを意識して授業に臨むこと。					
担当教員の実務 経験	職種: 児童英語指導員 職歴: 12 年 この授業を通じて子どもの積極性を維持できる授業運営のコツを学ぶことができる。					

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業の雰囲気作りに協力し、積極的に学び、学習成果を高めようとする態度を評価する。		10		
レポート/作品	作成した教材を提出してもらい、学習目標にあった作品として仕上がっているかどうかを評価する。		20		
発表	教材研究の結果を発表したり、授業で作成した教材作品を使って個人やグループで模擬授業を行う。子どもが理解しやすい指導を行っているかどうかを評価する。				60
小テスト	教授法や教材名、作成方法など専門用語を覚えたかどうかを評価する。		10		
試験					
その他					
合 計			40		60

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の方針、進め方、評価方法等の説明)
	事前・事後学習	フラッシュカードなど、教材の種類について復習しておく。
2	授業内容	どのようなテーマに沿って、どのような教材を製作するか話し合っ て決める
	事前・事後学習	図書館やインターネットで気に入った絵本、ストーリーを探しておく
3	授業内容	教材作成(1):話のテーマ・あらすじを作成する
	事前・事後学習	今日の活動について振り返りシートを作成、提出する
4	授業内容	教材作成(2):話のあらすじを英語に訳す
	事前・事後学習	今日の活動について振り返りシートを作成、提出する
5	授業内容	教材の作成計画を立てる
	事前・事後学習	今日の活動について振り返りシートを作成、提出する
6	授業内容	教材作成(3)
	事前・事後学習	今日の活動について振り返りシートを作成、提出する
7	授業内容	教材作成(4)
	事前・事後学習	今日の活動について振り返りシートを作成、提出する
8	授業内容	教材作成(5)
	事前・事後学習	今日の活動について振り返りシートを作成、提出する
9	授業内容	教材作成(6)
	事前・事後学習	今日の活動について振り返りシートを作成、提出する
10	授業内容	教材作成(7)
	事前・事後学習	今日の活動について振り返りシートを作成、提出する
11	授業内容	教材作成を完成させる(1)
	事前・事後学習	今日の活動について振り返りシートを作成、提出する
12	授業内容	教材作成を完成させる(2)
	事前・事後学習	今日の活動について振り返りシートを作成、提出する
13	授業内容	予行演習と録画、振り返り
	事前・事後学習	今日の活動について振り返りシートを作成、提出する
14	授業内容	教材の調整をする
	事前・事後学習	今日の活動について振り返りシートを作成、提出する
15	授業内容	完成版の上演と録画、振り返り
	事前・事後学習	今日の活動について振り返りシートを作成、提出する